

研究課題名「肝胆膵疾患画像診断における Dual energy CT の有用性に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年9月1日から2019年8月31日までに、肝臓・胆管および胆嚢・膵臓の悪性腫瘍を疑われ名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一を受診し造影CT検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的は、Dual energy CT という新しいタイプのCTで撮影したが画像データを用いて肝臓・胆管および胆嚢・膵臓の悪性腫瘍な診断を正確に行う方法を探求することです。研究期間は2023年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

肝臓・胆管および胆嚢・膵臓の悪性腫瘍（癌を含む）の疑いにて、手術前に造影剤を投与して撮影した腹部CT検査の画像データを使用します。悪性腫瘍の術前診断で手術を行った場合は、切除した臓器の顕微鏡検査の結果も使用します。

4. 外部への試料・情報の提供

画像データは、データ内の個人情報（名前や生年月日など個人が特定される可能性がある情報）を匿名化し、名古屋大学工学部森研究室に移動します。移動させた画像データは工学部のコンピューターにて解析を行います。

5. 研究組織

名古屋大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学	榎野正人（教授）
名古屋大学大学院 情報学研究科 森研究室	森 健策（教授）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一 榎野正人（教授）

研究代表者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一 伊神 剛（講師）

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一 田中 寛（医員）